相模女子大学（所在地：神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号）

事業名　知的障害者に学びの機会を設ける大学間のネットワーク構築と実態調査

事業の趣旨・目的

・大学で知的障害者の教育プログラムを開講する意義や効果については、国外では系統的な協議体で共有されている（e.g. 米国のThink College）が、国内では整備されていない。
・今回、学校教育法で定める大学を対象に、知的障害者に対する学びの機会として例えばオープンカレッジや生涯学習プログラム等の開講状況を調査すると共に開講する大学間で研究発表や情報交換等を行うためのネットワークの構築をめざす。

事業実施体制・連携先

・フォーラムを相模女子大学と神戸大学で開催（共催　文部科学省、事務局　相模女子大学）する。これを機に大学間でのネットワーク構築の足場とし、継続的な研究・情報交換の機会としていく。

主な対象　知的/発達

活動分野　その他（　大学教育　）

事業内容

・研究１．知的障害者を主な対象としたオープンカレッジ・生涯学習プログラム等を開講する大学へのインタビュー調査
これまで長く知的障害者を対象としたオープンカレッジ・生涯学習プログラム等を開講している大学をリストアップして、実際の担当教員・職員等に現地にてプログラムや運営方法などについてインタビュー調査を行う。対面で行うことで情報交換を行い、大学間のネットワーク構築の足掛かりとする。

・研究２．全国の大学を対象としたオープンカレッジや生涯学習プログラム等の開講状況に関する調査（質問紙調査）
令和2（2020）年度の国の全国調査の結果から約6年が経過した。前回調査時がコロナ禍であったこと、この6年間、国の「学校卒業後の学びの実践研究事業」が展開されていることなどから新規に開講している大学が増加している可能性がある一方、コロナ禍で休講したまま再開していない大学があることも想定される。そこで、令和8（2026）年度に再調査を行う。

・研究３．大学間のネットワーク構築と本調査研究の結果を報告するための研究フォーラムの開催
相模女子大学と神戸大学の主催（文部科学省　共催）により「知的障害者と共に学べる大学教育づくりフォーラム」を神戸大学にてハイフレックス形式で開催する。内容は、①神戸大学の津田英二氏より「知的障害者と共に学べる大学教育づくりフォーラム」の趣旨説明、②文部科学省より「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」事業とその経過報告、③相模女子大学より研究1、2の調査結果の報告、④各大学で実践している知的障害者のためのプログラム報告を予定している。

開催日：2027年3月1日（月）※11時から16時まで　対面参加会場：神戸大学（同時にオンライン開催）　主催：相模女子大学・神戸大学　共催：文部科学省

事業終了後の目指す方向性

・本フォーラムは、大学間でのネットワーク構築のためのキックオフミーティングとして位置づけ、フォーラム後、任意で研究会を立ち上げることを想定している。継続的に大学間で連携しながら研鑽し情報交換する機会とする。
・文部科学省の協力を得て、「共生社会のマナビ　障害者の生涯学習推進ポータルサイト」にて情報発信をする。

その他

第1回　知的障害者と共に学べる大学教育づくりフォーラム
申込み　QRコードよりフォームにて受付
会場参加：大学、特別支援学校など教育機関に所属の方
オンライン参加：どなたでも参加可能
問合せ先：相模女子大学大学事務部学術研究支援課
research@mail2.sagami-wu.ac.jp